

確定(中間)申告書記入例

受付印 令和7年5月31日

所在地 (あて先) 浜松市長
〒430-0948 浜松市中央区元目町120番地の1

法人番号 0987654321098 申告年月日 令和7年5月31日

事業種目 サービス業

期末現在の資本金の額 8000000
又は出資金の額

期末現在の資本金の額及び資本準備金の額の合算額 10000000

期末現在の額 10000000

代表者名 浜松太郎 (代表者) 天竜花子 (代表者)

令和6年04月01日から令和7年03月31日までの事業年度分の市民税の確定申告書

項目	課税標準	税率	税額
① 速達秘匿金税額等) 法人税法の規定によって計算した法人税額	50000300		
② 試験研究費の額等に係る法人税額の特別控除額			
③ 還付法人税額等の控除額			
④ 退職年金等積立金に係る法人税額			
⑤ 課税標準となる法人税額及びその法人税割額 ①+②-③+④	50000000		
⑥ 以上の市町村に事務所又は事業所を有する法人における課税標準となる法人税額及びその法人税割額 (⑤×⑥)	17500000	6.0	1050000
⑦ 市民税の特定寄附金税額控除額			215
⑧ 控除超過額相当額の加算額			
⑨ 外国関係会社等に係る控除対象所得税額等相当額の控除額			
⑩ 外国の法人税等の額の控除額			1000
⑪ 経緯に基づく法人税割額の控除額			
⑫ 引当法人税割額 ⑤-⑦+⑧-⑨-⑩又は⑥-⑦+⑧-⑨-⑩-⑪			1048700
⑬ 既に納付の確定した当期分の法人税割額			500000
⑭ 租税条約の実施に係る法人税割額の控除額			
⑮ この申告により納付すべき法人税割額 ⑫-⑬-⑭			998700
⑯ 算定期間中において事務所等を有していた月数	12月		150000
⑰ 既に納付の確定した当期分の均等割額			75000
⑱ この申告により納付すべき均等割額 ⑯-⑰			75000
⑲ この申告により納付すべき市民税額 ⑮+⑱			1073700
⑳ このうち見込納付額			1073700
㉑ 差引 ㉑-⑲			

⑮は中間(予定)申告で納めた税額が記載されています。

⑰は左下「指定都市に申告する場合の⑰の計算」欄の均等割額の合計額を記入してください。

⑲の人数は事業年度末日の合計人数を記載してください。

⑳、㉑欄は必ず記入してください。

令和6年1月1日以降に始まる事業年度の申告は新3区での計算となります。

月数、従業者数、均等割額は必ず記入してください。

電子申告の場合、訂正通知のメールを送らせていただくことがありますので、ご了承ください。

納付書記入例

浜松市中央区元目町120番地の1
株式会社 浜松第一商事 様

年度 07 管理番号 0234567891

事業年度又は通算事業年度 6.4.1 から 7.3.31 まで

法人税割額 01 998700

均等割額 02 75000

合計額 05 ¥1073700

- 管理番号を必ず記入してください。
- 事業年度の記入と該当する申告区分に「○」を記入して下さい。
- 見込み納付の場合は申告区分「その他」に「○」を記入し、「見込」と記入してください。
- 法人税割額(⑮の金額)、均等割額(⑲の金額)と合計額(㉑の金額)を記入してください。
- 先頭に「¥」を付けてください。
- 合併して消滅した法人の場合は、消滅した法人の名称、管理番号、事業年度を記入してください。